

えんど久子県議ら 県や国に求める

No! オスプレイ

十文字原と日出生台で訓練

陸上自衛隊が10月2日から9日間、日出生台と十文字原の演習場でV22オスプレイの訓練も含めた5000人が参加する訓練を行うとの報道を受け、日本共産党県議団は、29日に市民団体のみなさんと一緒に大分県に要望しました。欠陥機のオスプレイの訓練は中止するよう防衛省に求めることや、県として反対の態度を取るなど要請しました。

県は「地元自治体や県民への十分な説明や日常生活に配慮した運用を要望している」などと回答。大分県に9月20日に説明があったと言います。

県民の安心安全を守れと主張

えんど久子県議は「県民にもっと早く知らせるべきだ。癒しを求めて訪れる温泉地の観光にマイナスだ」と話しました。「県として情報をきちんと伝える」などというものの反対の立場は表明しません。

えんど県議は、自衛隊の立場に立っているように聞こえるが、もっとしっかり県民の立場に立って県民の安心安全を守るためにがんばってほしい」と主張。「県民の暮らしや安全を守るのが県の仕事だ」と県の担当者は述べました。



オスプレイを使用する陸上自衛隊の演習中止を大分県に申し入れ。
2022. 9. 29.

日本共産党 県政ニュース

発行責任者

大分県議会議員 えんど久子

TEL・FAX 097-537-2344

No. 61

2022.10.3

えんど久子のホームページはっぴーえんど・どっとねっとをぜひご覧ください

えんど久子県議ら県議団 団体のみなさんと

リモートで防衛省に申し入れ

防衛省とリモートで協議

9月30日、十文字原・日出生台での自衛隊によるオスプレイなどの演習の問題で、田村貴昭衆議院議員、仁比そうへい参議院議員と共に、リモートで防衛省と話し合いました。

この中で、鎮西作戦では10月6日(木)の1日の予定で、十文字原演習場と熊本県の高遊原分屯地とを1～3往復し負傷者救護の訓練を計画していることがわかりました。

安全性の不安を訴える

「米海兵隊のMVオスプレイは高度90メートル以上で下げるとのことだが…」とえんど久子県。自衛隊はこれとは別であり、法令に則って実施すると防衛省。「もっと早く公表すべき」と求めたのに対し、「各方面と調整後に公表した」と防衛省。

「不具合で運行休止していた経過があり、安全性が不安だ。湯布院盆地は飛ばないでほしい」との訴えに「安全性は再確認し、点検も訓練も積み重ねている」と防衛省は言いますが、「安全対策は昔のものだ」と山下かい党書記長が反論。「農業・畜産など土地と共に生きている人に考慮してほしい。少しでも正確な情報を早く広く知らせてほしい」と地元の方が訴えました。

防衛省とリモートで協議 22. 9. 30.



連日オスプレイの目撃情報

この時は6日にオスプレイが飛ぶとの話でしたが、それ以外の日にも目撃情報が多数寄せられました。恒常化しないよう、今後とも一緒に声を上げていきましょう。



別府駅前通りでNOオスプレイと
アピール行動 22. 10. 2.